

令和2年度青森県電源立地地域対策交付金事業

No.	申請区分	事業名	事業概要	交付金事業実施場所	開始及び完了年月日	総事業費 (単位:円)	交付金充当額 (単位:円)
1	上期	消防活動推進事業	・横浜消防署職員(29名)の person 費 消防の責務である、火災予防・警戒鎮圧、人命を守る救急救助活動を全うするための消防広報・危険物施設・防火対象物・一般住宅等の立入検査指導、婦人・幼年消防クラブの育成指導、消防と密接に関係する諸団体との合同訓練の実施などの活動を行い、地域住民の安全維持活動に努めた。	字三保野127-1	R2.5.1～ R3.1.31	106,607,865	103,000,000
2	上期	福祉サービス提供事業	・保健師職員(5名)、社会福祉士職員(1名)、主任介護支援専門員(1名)の person 費 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員による家庭訪問や健康教室、健診及び予防ケアプランの作成により、住民の健康増進・子どもの健やかな成長・高齢者の介護予防を図った。	字寺下35	R2.5.1～ R2.12.31	28,110,644	26,000,000
3	上期	子ども医療費助成事業	・乳児から高校生までの医療費(個人負担分)を助成 本事業では、子どもの健康の増進を図るとともに、子育て支援・少子化対策として、安定して子育てができる環境整備の一環を担うために、0～18歳までの医療費の無料化に取り組んだ。	各医療機関	R2.5.1～ R3.2.26	6,689,862	6,689,862
4	上期	英語指導助手招致事業	・英語指導助手(ALT2名)の報酬 外国語指導助手を配置して効果的に活用し、町内の小中学校における英語でのコミュニケーション能力の段階的な育成を図った。	横浜小学校 横浜中学校	R2.5.1～ R3.2.28	4,135,869	3,800,000
5	上期	横浜町費負担臨時教員配置事業	・町費負担臨時教員(4名)の person 費 町独自で教員を採用して学校に配置(小学校2名、中学校1名)し、教師のサポートをさせる体制を整備することで、教師が学習面生活面両方でより児童生徒と深く関わり合い、児童生徒が元気に明るく学校に登校し勉強に集中できる環境を構築した。	横浜小学校 横浜中学校	R2.5.1～ R3.2.28	11,924,258	11,000,000
6	下期	横浜町立小・中学校維持運営基金造成事業	・横浜町立小・中学校の維持運営に充てるための基金造成 令和3年度以降に予定している小・中学校の維持運営費に充当するための基金を造成した。	字寺下35	R2.12.4～ R3.3.31	18,804,000	18,804,000
合 計						176,272,498	169,293,862

維持運営基金分

No.	申請区分	事業名	事業概要	基金事業実施場所	開始及び完了年月日	総事業費 (単位:円)	基金充当額 (単位:円)
1	上期	町立小・中学校維持運営事業	町内小・中学校の臨時用務員(2名)の person 費、光熱水費等の維持運営費に基金を充当	字林ノ後32-1 字上イタヤノ木91-17	R2.4.1～ R3.3.31	14,937,323	12,000,000
2	上期	一般廃棄物最終処分場維持運営事業	一般廃棄物最終処分場の管理人(1名)の person 費、光熱水費等の維持運営費に基金を充当	字雲雀平81-1	R2.4.1～ R3.3.31	8,348,770	7,000,000
3	上期	学校給食センター維持運営事業	学校給食センターの職員(1名)、臨時職員(8名)の person 費及び光熱水費等の維持運営費に基金を充当	字林ノ後32-1	R2.4.1～ R3.3.31	23,564,506	22,000,000
4	上期	公共施設修繕・維持補修基金事業	必要に応じて公共施設の修繕・維持補修費等に基金を充当	字寺下35	R2.4.1～ R3.3.31	0	0
合 計						46,850,599	41,000,000

上記の事業を電源立地地域対策交付金により実施することで、各種検診の補助や一部無料、また子育てに関する支援や住宅支援など、様々な事業展開を行っています。